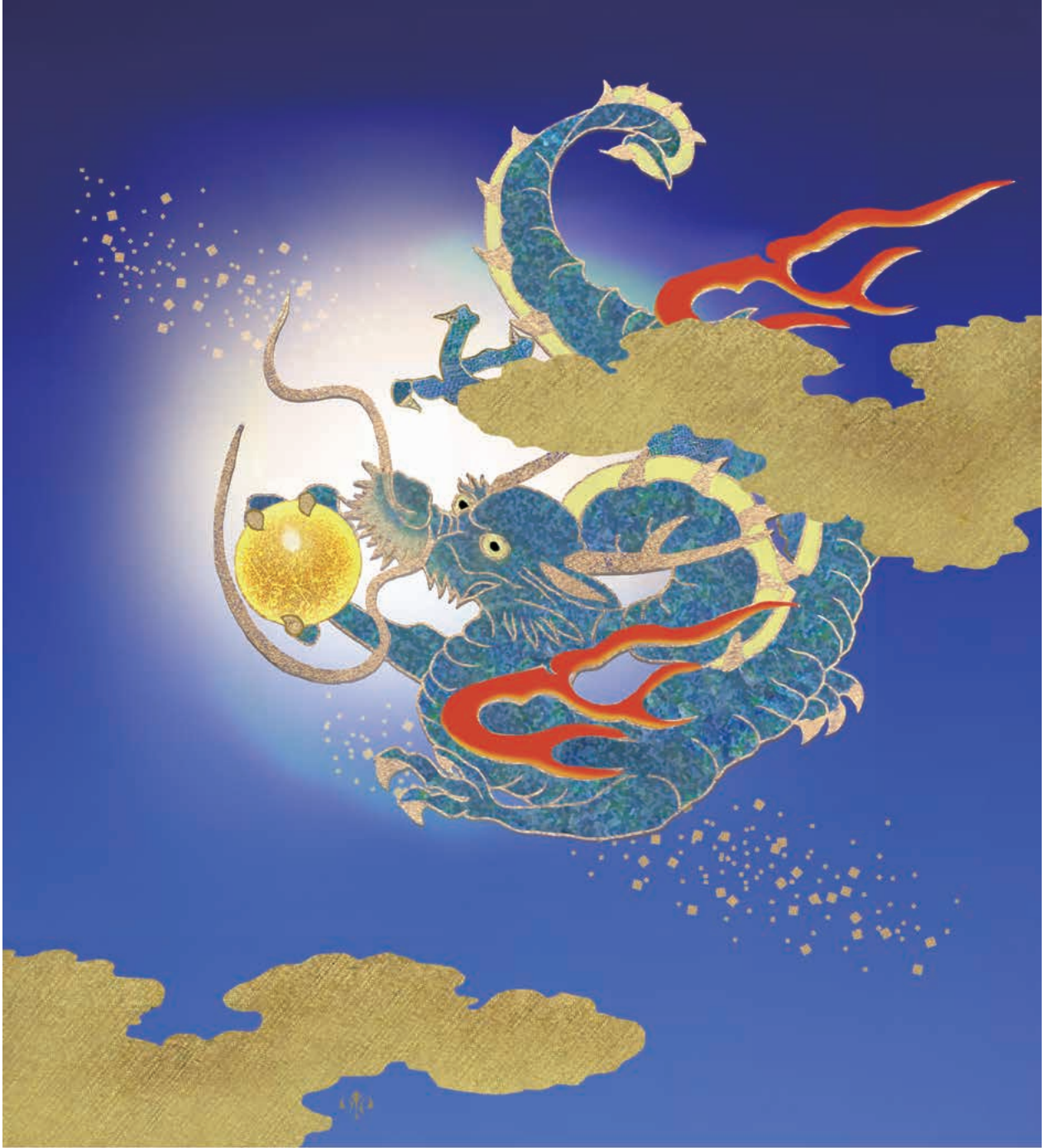


旅立ち

大切な第一歩を共に



© MINAKO NOMOTO 2024

新年あけましておめでとうございます。

環境変化のはげしい現在において、これからの有能な人材を多く育むことが大切です。明るく輝かしい明日に向けて、未来に向けて一步一步前進出来る年にして行きましょう。

2024年1月吉日

代表理事 黒澤 厚

奨学生訪問 第二弾

前号に引き続き、第6期奨学生訪問の様子をご紹介します。第二弾は福島（8月2日・9月19日）・北海道（9月1日・11月6日）・宮城（10月11・12日）地区です。

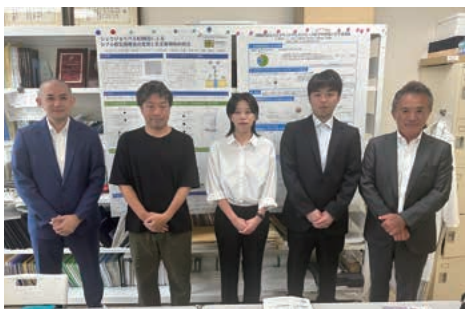


武藤 誠 様

福島大学食農学研究科（中央右）

平 修 様 [食農学類教授（中央左）]

抑うつと食品の関係性について研究をし、スイスでの学会発表に向けて英語の勉強に励んでいます。また地元のあんぽ柿の成分を分析し、伊達市のJAと一緒に栽培法の研究などを実施しています。将来は一般企業の研究職に就き、化学の研究を続けたいです。



穴澤 令望 様（中央）・和田 佑斗 様（中央右）

福島大学大学院食農科学研究科 農学群食農学類

尾形 慎 様 [農学群食農学類准教授（中央左）]

感染症や生活習慣病の研究をしています。具体的には、糖の合成をメインに、医薬品や検査薬の開発研究を行っています。また地元の農家と共に取り組み、伊達市のいちごの成分分析をして農家の会議に参加したり、伊達市長に研究結果を発表したりしています。



佐藤 伶音 様（中央）・平田 大賀 様（中央右）

北海道大学大学院 医学院医科学専攻

園下 将大 様 [遺伝子病制御研究所がん制御学分野教授（中央左）]

ショウジョウバエを使い、創薬研究を行っています。がん形質を模倣したモデルハエを作出し、これを既存のがん研究基盤に相補的に活用することで、新規治療標的や治療薬候補の網羅的探索を効率的に実施しています。今後は博士課程に進学し、研究を通じて社会福祉の向上に貢献したいです。



若林 亜美 様（中央）

北海道大学獣医学部

石塚 真由美 様 [獣医学博士・教授（右）]

動物の体の仕組みなどについて幅広く学んでいます。鳥インフルエンザ等の感染症や食肉検査にも獣医師が関わるので色々な地域に実習に行きたいです。将来は、技術を学べる個人の動物病院や細かい病気を診る鳥専門の病院への就職等 様々な選択肢があります。



木村 成実 様
福島大学農学群食農学類

今年の夏に土木関連の企業のインターンに参加をした経験を経て、改めて農業支援への夢が具体化しました。
将来は、県庁職員となり農業技術者として農家の方々のサポートや農産物を世界にPRをしたいです。



菊池 大雅 様(左)
東北大学大学院 生命科学研究所脳生命統御科学専攻
博士前期課程

iPS細胞をはじめとする多能性幹細胞の変化の仕組みについて研究をしています。
化学メーカーに内定をもらっており配属先によっては専門分野の研究を生かすことができるので商品を通して多能性幹細胞の一般消費者の知名度を上げることが夢です。



下川 大輝 様(右)
東北大学大学院 医学系研究科医科学専攻 博士後期課程

がん治療の研究を志し、入学しました。放射線の研究をしていく中で、治療よりも診断や予防による早期発見が重要だと気づき、現在取り組んでいる研究である人工知能の研究にたどり着きました。
将来は乳がんの早期診断・発見のためのAI研究で起業を目指します。



清水 悠暉 様(中央)
東北大学大学院 薬学研究科医療薬学専攻博士課程
古本 洋三 様[薬学研究科分子動態解析学分野 教授(左)]

在学中に取得した薬剤師の資格を活かし、高血圧に関わる研究や、一般的な腫瘍や認知症の研究に加え、副腎の病気に対する診断薬の開発研究をしています。
また医療機関と共同でPET検査の臨床研究を続けています。



槻宅 典亮 様(左)
東北大学工学部建築 社会環境工学科

東北大震災や台風による水害の経験から、災害時の車両の混雑状況等を、自動車の車両数を想定したシミュレーションを通して研究しています。
大学院の進学が決まったので研究を続け、将来は国交省などで研究が生かせるように努めます。

【第9回】

2021年3月に日本赤十字北海道看護大学を卒業し、看護師として医療に従事されている第1期生奨学生の高原香織さんからメッセージをいただきました。

【高原香織さんメッセージ】

もともと小学生のころから看護師になりたいと考えていましたが、実際には違う職業に就いていました。たまたま事故の対応をしたり、新幹線の中で体調不良の方の対応をした際に自分の無力さを感じ、看護師として人の役に立ちたいと再び考え始めました。

紆余曲折を経て40代で看護大学に入学。子育てをしながらでしたが、クロサワ財団の支援で勉学の時間を確保することができ、現在は総合病院で看護師として勤務しています。

在学時には10代の仲間と協力したり励ましあい、今は職場の同僚や患者さんから力をもらったり学ばせてもらっており、人に助けられ現在の自分があります。

感謝の気持ちを忘れず、これからも看護師として患者さんに接していきたいと思っています。



今年9月当財団にご息女とご来社いただきました。



在学時の写真をいただきました。(保健所実習期間)

財団からのお知らせ

【第7期奨学生(2023年度)応募状況】

2023年9月30日に書類応募を締め切らせていただきました。126名の学生の皆様にご応募をいただき、誠にありがとうございました。11月19日に仙台市にて二次面接を一次通過者の22名で実施し、結果15名が合格いたしました。

合格者等の詳細は、今後広報誌でご紹介させていただきます。

美しい言葉

No. 9

美意延年

いをよくすれば としをのばす (荀子・致士)



心を善美にすれば長生きするの謂です。心の善美な人は、多くの人の心をとらえ、
天の神もその心を動かすであろうといい、これが長生きの秘訣である。



公益財団法人 クロサワ育成財団 事務局：丹治・田村

〒104-0045 東京都中央区築地6-25-10 築地センタービル4階

TEL：03-6281-5140 FAX：03-6281-5141 URL：<https://www.kurosfound.or.jp/>

月曜～金曜 午前9時～午後6時 ※年末・年始、祝日、当財団休日を除く

